

大腸癌に対する FOLFIRI+Bevacizumab療法

(レボホリナート+イリノテカン+フルオロウラシル+ベバシズマブ)

RPHW_DRPHW_1

2008年07月08日 承認

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 《SYPID》	氏名 《ORIBP_KANJI》様	年齢 《SYAGE》	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ()	コース目	実施サイクル コース予定	【調製指示】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

Day1 (/)

《治療当日・治療前》

アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを
治療開始前に服用

本管(中心静脈ポート)

生理食塩水 100mL

ルート確保後、主管は止めること

側管

全開で 生理食塩水 50mL

生理食塩水 100mL
ベバシズマブ mg

開始時 (15min)
グラニセトン1mg/生食50mL
デキサート3.3mg 1A
(リン酸エステル換算 4mg)

同時投与 (2hr)
5%ブドウ糖 250mL
レボホリナート mg

(2hr)
5%ブドウ糖 250mL
イリノテカン mg

(全開でdiv) (2分程度で)
生理食塩水 20mL※
フルオロウラシル mg

(全開でdiv)
生理食塩水 50mL

(46hr)
生理食塩水 140 mL
フルオロウラシル mg
★全量140mLに調製

(インフューザーポンプを使用)

初回 : 90分かけてdiv
↓ (忍耐力良好)
2回目 : 60分で投与可
↓ (忍耐力良好)
以降 : 30分で投与可

※50mLの容器から
30mLを破棄

終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、
自己抜針してもらう)

Day2 (/) ~ Day3 (/)

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を
1日2回(朝昼食後) 服用

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを
午前中(朝食後)に服用

FOLFIRI+Bevacizumab療法

標準投与量:

Bev	5 or 10 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m ²	day1
CPT-11	150 mg/m ²	day1
5-FU	400 mg/m ²	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m ²	(46hr持続)

2週毎